

橋梁損傷度判定

Operation Guidance 操作ガイダンス

本書のご使用にあたって

本操作ガイダンスは、主に初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

ご利用にあたって

ご使用製品のバージョンは、製品「ヘルプ」のバージョン情報よりご確認ください。

本書は、表紙に掲載のバージョンにより、ご説明しています。

最新バージョンでない場合もございます。ご了承ください。

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

目次

6	第1章 製品概要
6	1 プログラム概要
10	第2章 操作ガイダンス
10	1 起動
10	1-1 ログイン
10	1-2 Top画面
10	1-3 サポート
12	2 健全度判定
12	2-1 診断の流れ
14	2-2 調書作成
14	3 調書読込
16	4 新規登録
16	4-1 新規作成
17	4-2 橋梁諸元
18	4-3 位置情報
20	4-4 調書用設定
20	4-5 健全性診断
24	4-6 任意データ
25	5 調書出力(データベース閲覧)
25	5-1 データ閲覧
26	5-2 データ編集
28	5-3 データ削除
28	5-4 調書出力

第1章 製品概要

1 プログラム概要

■ 概要

「橋梁損傷度判定」は、AIによる変状の種類や健全度の判定と、「道路橋定期点検要領」（令和6年3月、国土交通省道路局）に基づく点検調書の出力に対応したWebアプリケーションです。熟練技術者による判断や、多くの時間を要していた橋梁点検業務の効率化をAIによる判定で支援します。また、橋梁位置から海岸までの距離を自動算出し、「コンクリート標準示方書」に準拠した塩害の劣化過程を判定することが可能です。

Webアプリのため、インターネットに接続できる環境があればデバイスを問わずご利用いただけます。

■ 機能概要

【健全度判定(AI)】

AIの機能により、損傷写真から変状の種類（ひびわれ、剝離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰）を推定し、損傷度（a～e）、健全度（Ⅰ～Ⅳ）を判定します。変状の種類を指定して健全度判定を行うことも可能です。「道路橋定期点検要領」（令和6年3月）における技術的な評価や特定事象の有無の判定の参考情報として、AIによる健全度の判定結果をご活用いただけます。



▲健全度判定の概要

健全度の等級	健全度	損傷度	損傷度の等級	対策区分
Ⅰ	100	0	a:0	A
Ⅰ	80-100	0-20	-	B
Ⅱ	60-80	20-40	b:20	C1,M
Ⅲ	20-60	40-80	c:50	C2
Ⅳ	0-20	80-100	d:80,e:100	E1,E2

▲健全度、損傷度、対策区分の対応関係

AI支援による判定

本製品の健全度判定ではAIが使用されております。

AIは画像やデータの特徴を分析することで、学習パターンに基づいて入力された画像の分類・判定を行います。

あらかじめ多量なデータを学習したAIモデルを応用し、弊社が所有する多数の橋梁点検データを学習させることで、入力された状況写真から変状の種類と損傷度について判定を行えるようになっております。

なお、判定結果は事前に学習したデータに基づくものであるため、全ての状況写真に対して正確性や網羅性を保障するものではありません。

想定外の状況写真が入力された場合を含めて誤った結果を出力する可能性があります。

判定結果への最終的な判断はご自身で行ってご活用ください。

【調査出力】

「道路橋定期点検要領」（令和6年3月）に基づく点検調査の出力を行います。画面上でのプレビュー表示と、PDF・Excel形式での出力に対応しています。

▲調査プレビュー

【点検データのクラウド管理】

作成した点検データをクラウド上に保存し、データベースとして管理できます。次回点検時は既存の点検データに点検日を追加して、効率的に点検調査を作成できます。新規に点検データを作成する際は、データベースから既存の橋梁データを検索し、橋梁諸元を取得して利用することが可能です。

また、既存の点検調査（Excel、PDF）を入力データとしてインポートすることも可能です。

【読込可能なファイル形式】

- ・道路橋定期点検要領（R6年、国土交通省 道路局）… Excel（道路橋記録様式）
- ・道路橋定期点検要領（H31年、国土交通省 道路局）… Excel（道路橋記録様式）、PDF
- ・橋梁定期点検要領（H26年、国土交通省 道路局 国道・防災課）… PDF
- ・道路橋に関する基礎データ収集要領（案）（H19年、国土交通省 国土技術政策総合研究所）… PDF

※PDFはテキストベース（検索可能なPDF）のみ対応しています。

※スキャンなど画像ベースのPDFは使用できません。

▲点検データのクラウド管理

■ 適用基準及び参考文献

【適用基準】

国土交通省	道路橋定期点検要領（令和6年3月）
-------	-------------------

【参考文献】

国土交通省	道路橋定期点検要領（平成31年） 橋梁定期点検要領（平成26年） 道路橋に関する基礎データ収集要領（案）（平成19年）
(公社)土木学会	2022年制定 コンクリート標準示方書 維持管理編 令和4年3月

■ 橋梁損傷度判定におけるSLA（サービス品質保証）

【SLA明示項目重大障害時の代替手段】

1. 重大障害時の代替手段

運用サーバはAWS東京リージョンで稼働しておりますが、障害が発生した場合は、AWS大阪リージョンでただちに運用を再開します。

その際には、DNSのレコードを変更しサービスのURLの接続先をAWS大阪リージョンに書き換えて対応します。

2. サービス時間

24時間

3. 平均復旧時間

下記を考慮して、約3～7時間程度

- ・バックアップサーバ側への更新データの反映
- ・DNS設定の復元

4. サービス稼働率

99.9 %

＜稼働率の定義＞

稼働率は、以下の計算式に基づいて算出するものとします。

月間稼働率 = (月間総稼働時間 - ダウンタイム) / 月間総稼働時間 × 100

- ・月間総稼働時間

720時間(30日)として計測します。

- ・ダウンタイムの考え方

ダウンタイムとは、本サービスにおいてサーバエラーによりお客様が本サービスを利用できない時間が10分以上続く状態とします。

ダウンタイムは、サーバ側のエラー率に基づいて計測します。

なお、メンテナンスに伴うサービスの停止はダウンタイムとみなさず、ダウンタイムとして計測しません。

これらの予定されたサービス停止については、停止期間5日前に予めお客様に通知します。

5. サポート時間帯

電話サポートは、当社営業時間内（9:00～17:30）

6. バックアップの方法

AWSのバックアップ機能を使用し、データベースおよびユーザのファイルを格納する保存領域をAWSバックエンドストレージ上に、アーカイブとして世代バックアップします。

7.バックアップデータの保存期間

2週間

8.オンライン応答時間

3秒以下

9.ログの取得

HTTPのアクセスログを保存します。

- 接続元IP
- 時刻
- アクセス先のURL

10.障害通知プロセス

監視ソフトウェアを使い、ウェブサイトへのアクセスとサーバの状況を監視しています。不正な状況が発見される場合、管理者に自動的に通知されます。

障害内容はユーザー情報ページに掲載します。特定のユーザーに固有の障害が発生している場合はメールにて連絡します。

11.サービス解約時にデータやAPが削除されたことを証明する方法

現状では、アプリケーションの利用が行えなくなるのみで、データを削除した旨の自動通知（メール）は発行していませんが、利用者が希望した際にはデータを確実に削除した旨の通知（メール）を発行します。

12.解約時の違約金の有無

無

13.SLAの変更の可否

可能

第2章 操作ガイドンス

1 起動

1-1 ログイン



ログイン

<https://bridgedamage.forum8.co.jp/#/>

ブラウザよりURLへアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

お客様自身のユーザコード情報を入力します。

管轄、ユーザコード、パスワードを入力し「ログイン」ボタンよりログインします。

ログイン方法の切り替え

ログイン方法はご契約製品の「シリアルコード」の入力、またはユーザ情報ページの「パスワード」の入力を選択できます。



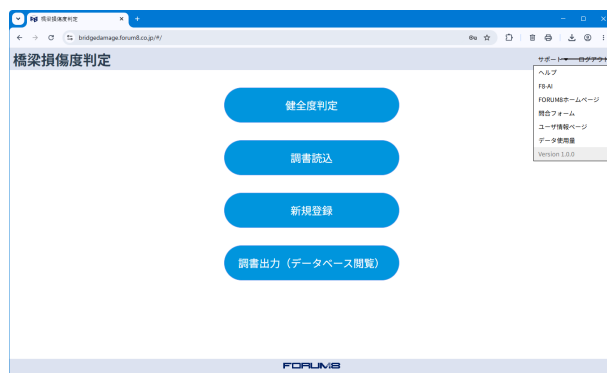
使用可能ブラウザ

Google Chrome

Mozilla Firefox

Microsoft Edge

1-2 Top画面



ログイン後、Top画面が表示されます。

画面に表示されているボタンより各種機能を選択します。

サポート

画面右上の「サポート」メニューでは、ヘルプの参照、AIサポートの利用、問い合わせ窓口の確認などを行えます。

ログアウト

ログアウトしてログイン画面に戻ります。

1-3 サポート

【ヘルプ】



「サポート」-「ヘルプ」をクリックします。

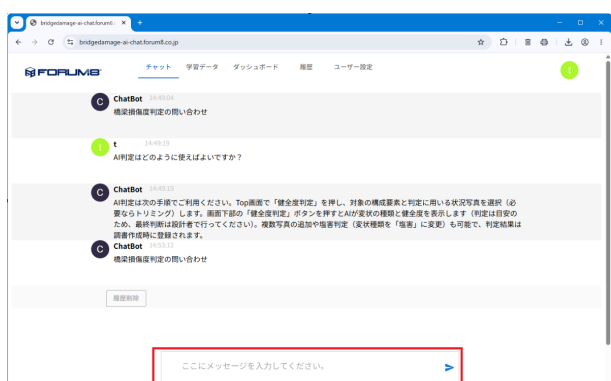


[ヘルプ](#)

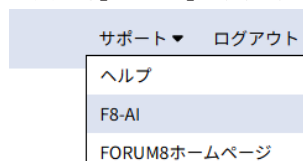
画面左ツリーより選択し、各種ヘルプ内容を確認できます。

第2章 操作ガイドンス

【F8-A1】



「サポート」-「F8-AI」をクリックします。



F8-A1

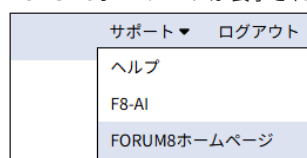
本製品に関する質問にAIがチャット形式で回答します。

画面下部の入力ボックスに質問内容を入力し、 ボタンで送信することで回答が表示されます。

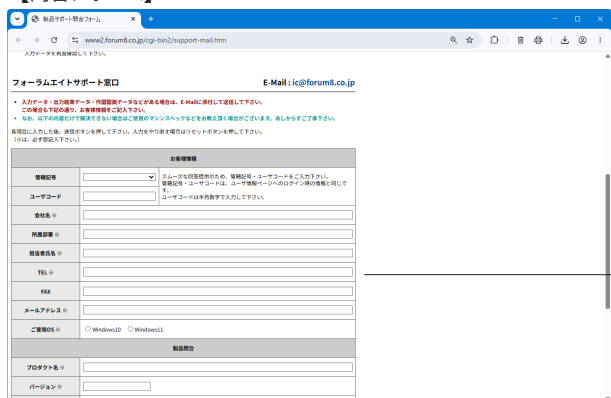
【FORUM8ホームページ】



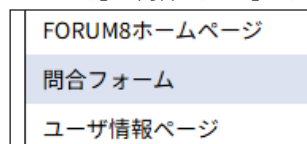
「サポート」-「FORUM8ホームページ」をクリックすると、FORUM8ホームページが表示されます。



【問合フォーム】



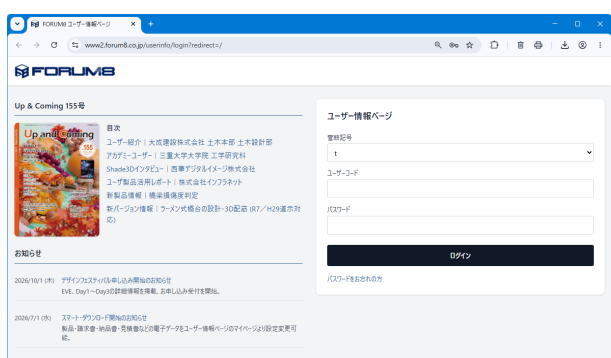
「サポート」-「問合フォーム」をクリックします。



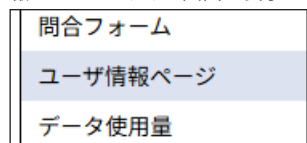
問合フォーム

ページに記載されている内容を確認後、ユーザコードや製品名、問合せ内容を記入し、送信します。

【ユーザ情報ページ】



「サポート」-「ユーザ情報ページ」をクリックすると、ユーザ情報ページのログイン画面が表示されます。



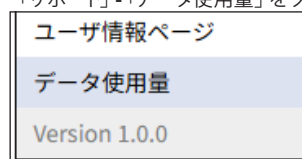
[ユーザ情報ページ](#)

ログイン後、ライセンスユーザ様専用ページにアクセスします。
各種ご契約内容等をご確認いただけます。

【データ使用量】



「サポート」-「データ使用量」をクリックします。



データ使用量

サーバーにアップロードされた写真やその他ファイルデータのサイズの合計を表示します。データサイズの使用上限を超えて保存することはできません。

2 健全度判定

2-1 診断の流れ



Top画面より「健全度判定」ボタンをクリックすると、判定画面へ遷移します。

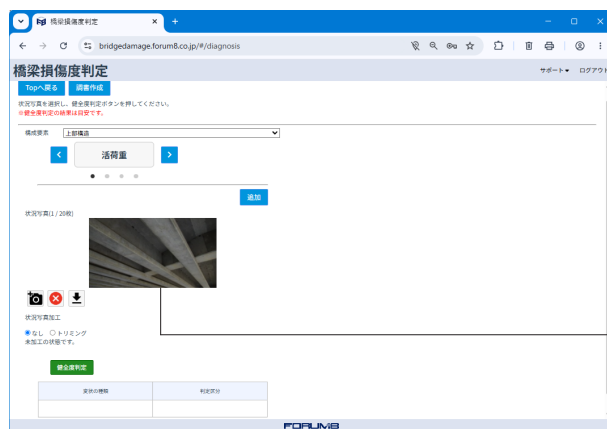
各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】(P9. 1-3 サポート【ヘルプ】)をご参照ください。



この画面では、AIによる変状の種類と健全度の判定を行うことができます。

構成要素

道路橋定期点検要領(R6)に基づく構成要素(上部構造、下部構造、上下部構造、フェイルセーフ、伸縮装置)と、想定する状況(活荷重、地震、豪雨・出水、その他)を選択します。
※判定後、調書作成に移行する際に参照されます。健全度判定には影響しません。



状況写真

判定に用いる状況写真をアイコンより選択します。
複数の状況写真の判定を行う場合は、「追加」ボタンを押します。

状況写真を選択します。

状況写真を削除します。

状況写真をダウンロードします。

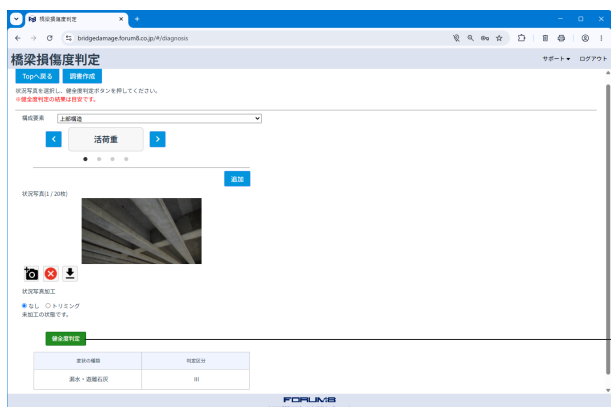
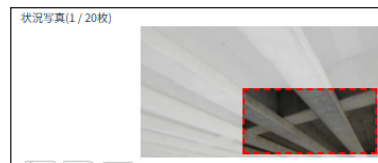
写真を追加すると画面上に表示されます。



状況写真加工

判定に用いる範囲を「トリミング」で指定できます。損傷と関係ない箇所を除外することで精度が向上する場合があります。

※トリミングする場合、「トリミング」にチェックを付け、画像上でトリミングしたい範囲をクリックして選択します。「画像をトリミング」ボタンで実行します。



健全度判定

「健全度判定」ボタンをクリックすると「変状の種類/判定区分」にAIによる判定結果が表示されます。

※健全度判定の結果は目安です。

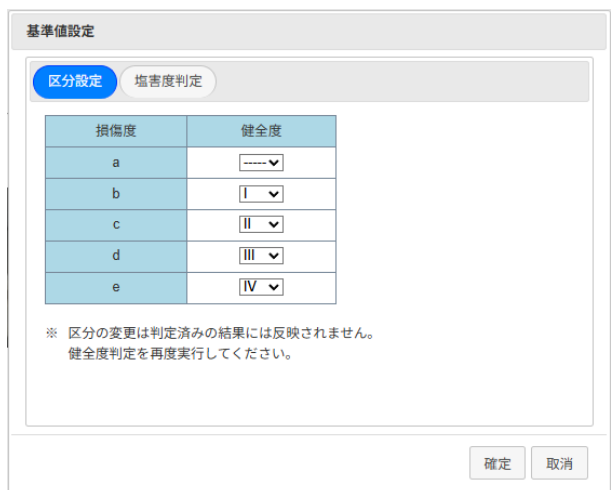
※調査作成時は、設計者様にて最終的にご判断いただきますようお願いいたします。

Topへ戻る

画面左上の「Topへ戻る」をクリックすると「Top画面に戻りますか？ ※判定結果は保存されません。」の確認画面が表示されます。適宜「確定」「取消」ボタンを選択します。

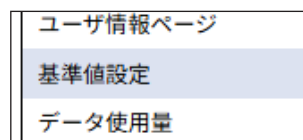


【補足】基準値設定



「サポート」-「基準値設定」をクリックします。

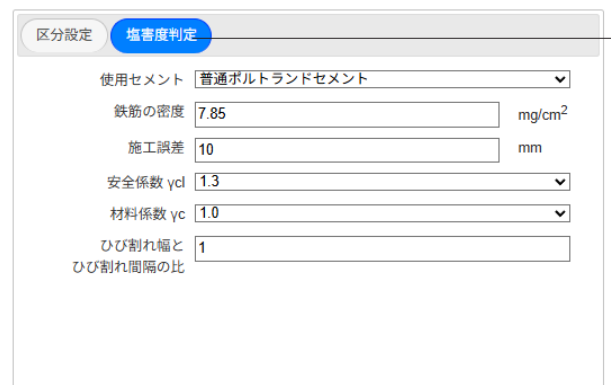
※健全度判定画面、入力画面でのみ表示されます。



基準値設定

区分設定

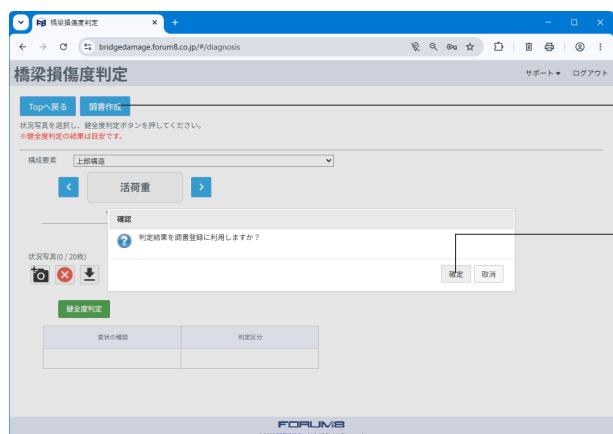
損傷度 (a～e) と健全度 (I～IV) の設定が可能です。



塩害度判定

塩害度判定の設定が可能です。

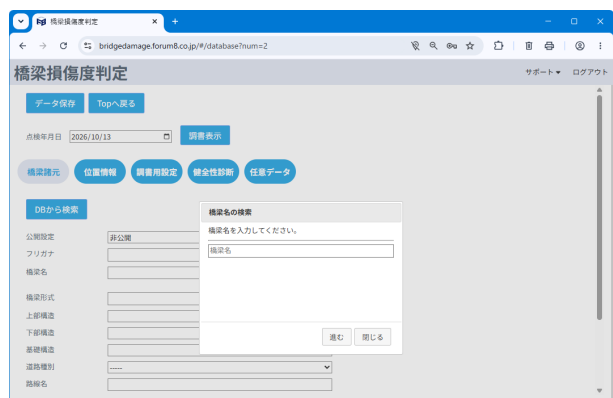
2-2 調書作成



調書作成

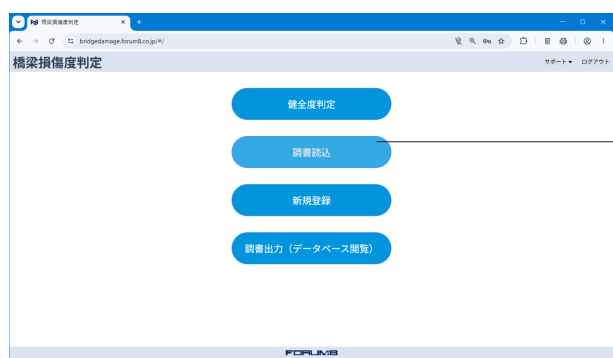
「調書作成」をクリックすると判定画面で使用した状況写真と判定結果を使用して、点検データを作成します。

確認用のダイアログ標示で「確定」を選択すると、点検データの新規登録画面に遷移します。



判定画面で使用した状況写真は、「健全性診断」タブに登録されます。
点検データの入力につきましては、(P15. 4-1 新規作成)をご参照ください。

3 調書読み込



Top画面の「調査読み込」ボタンより、既存の点検調書 (Excel、PDF) を入力データとしてインポートします。

各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】(P9. 1-3 サポート【ヘルプ】)をご参照ください。



読込可能なファイル形式

- ・道路橋定期点検要領(R6年)…Excel(道路橋記録様式)
- ・道路橋定期点検要領(H31年)…Excel(道路橋記録様式)、PDF
- ・橋梁定期点検要領(H26年)…PDF
- ・道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(H19年)…PDF

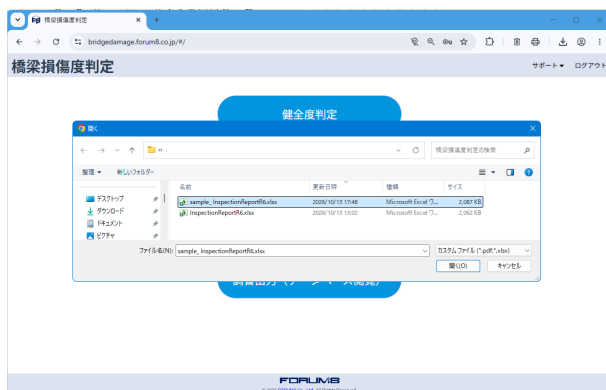
※PDFはテキストベース(検索可能なPDF)のみ対応。

※スキャンなど画像ベースのPDFは使用できません。

※各フォーマットは国土交通省のホームページ等で公開されております。

「ファイル選択」をクリックします。

第2章 操作ガイドンス



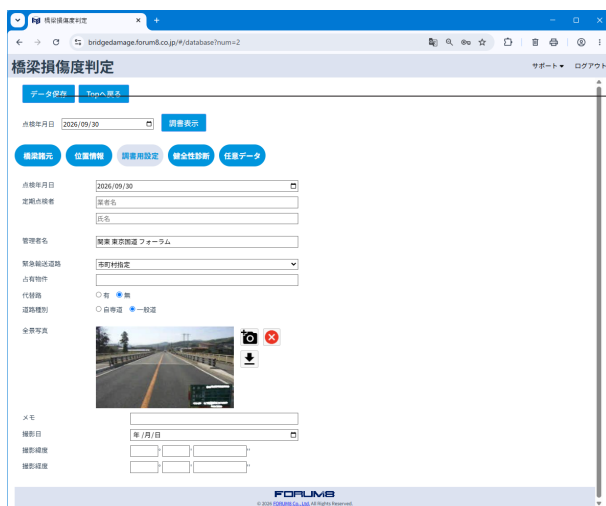
任意のファイルを選択し「開く」ボタンをクリックすると、調書の解析が開始されます。
様式やデータサイズによっては、解析に時間がかかる場合があります。解析が完了するまでしばらくお待ちください。



解析が正しく終了するとデータ確認画面が表示されます。
データは様式「道路橋定期点検要領」に反映可能な形で「橋梁諸元」「位置情報」「調書用設定」「健全性診断」の4つに分類して抽出されます。
※抽出できなかった箇所は空欄または「-----」で表示されます。

調査データを取得する場合は「確定」ボタンをクリックすると、入力画面に遷移します。

※同名の橋梁が既に登録されている場合は、データの保存先を選択して「確定」ボタンをクリックしてください。



タブ選択や「調書表示」より読み込まれた内容を確認します。
内容に問題がなければ「データ保存」ボタンより保存します。

4 新規登録

4-1 新規作成

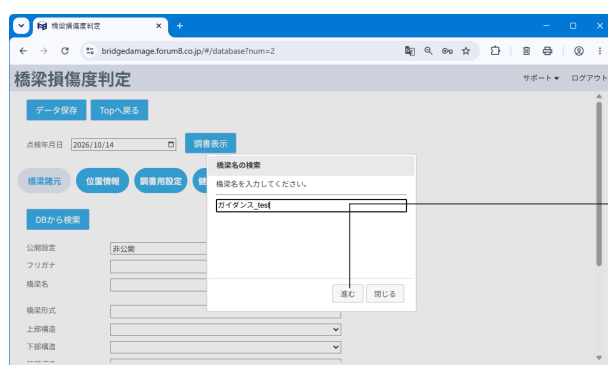


Top画面の「新規登録」ボタンより、入力画面に遷移して新しい点検データを作成することができます。

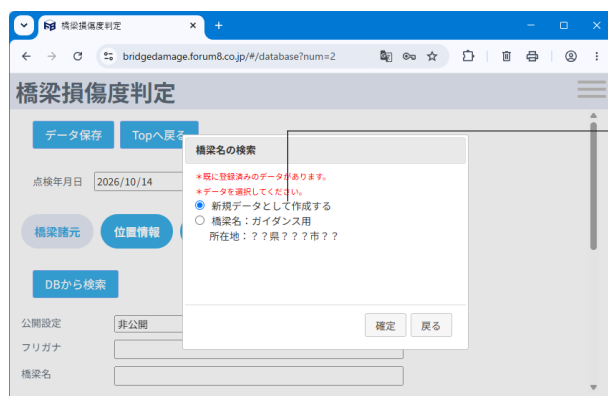
各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】(P9. 1-3 サポート【ヘルプ】)をご参照ください。

【補足】

「調査出力(データベース閲覧)」ページの「新規登録」ボタンからも開くことができます。

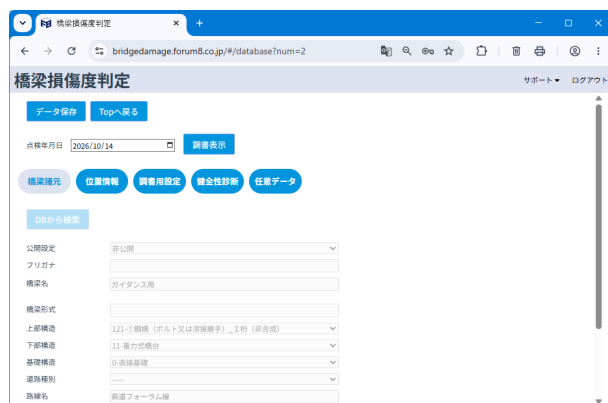


入力画面に遷移すると、橋梁名検索用のダイアログが表示されます。テキストボックスに登録予定の橋梁名を入力して「進む」ボタンをクリックします。同名の橋梁がデータベースに登録済みでないかを確認します。



【補足】同名の橋梁が登録されている場合

ダイアログに該当する橋梁名と所在地の一覧が表示されます。登録予定の橋梁とは別に、新規に登録する場合は「新規データとして作成する」を選択します。登録済みの橋梁に点検データを追加する場合は、該当する橋梁を選択してください。※他のデータと橋梁名と所在地が重複する場合は、新規データとして登録することはできません。



【補足】登録済みのデータを選択した場合

「橋梁諸元」および「位置情報」の各項目にデータが読み込まれ、編集不可の状態となります。続いて、「調査用設定」「健全性診断」「任意データ」の各タブを開き、必要な情報を入力します。既存データの「橋梁諸元」と「位置情報」を編集したい場合は(P25. 5-2 データ編集)をご参照ください。

【新規登録 画面構成】

データ保存

入力した内容を保存します。保存後、橋梁リスト表示画面に遷移します。

※保存には橋梁の位置情報入力が必要となっています。入力内容については位置情報(P17. 4-3 位置情報)をご参照ください。

Topへ戻る

入力中のデータを破棄してTop画面に戻ります。

点検年月日

調査に記載する点検年月日を設定します。調査用設定でも同様の設定が可能です。

調査表示

入力内容に基づいた点検調査書をプレビュー表示します。点検調査書のフォーマットは「道路橋定期点検要領」に基づいています。

入カタブ

入力内容は「橋梁諸元」「位置情報」「調査用設定」「健全性診断」「任意データ」の5つに分類されています。

4-2 橋梁諸元

橋梁諸元

橋梁諸元では、点検する橋梁の基本情報を入力します。以下は入力例です。

公開設定	非公開
フリガナ	
橋梁名	ガイダンス_test
橋梁形式	
上部構造	121-①鋼橋 (ボルト又は溶接継手)_I桁 (非合成)
下部構造	11-重力式橋台
基礎構造	0-直接基礎
道路種別	-----
路線名	県道フォーラム線
架設年度	2008 年
橋長	59.20 m
幅員	9.3 m

【補足】DBから検索

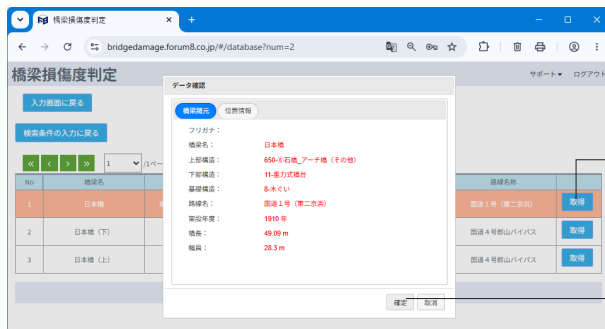
【補足】DBから検索

「DBから検索」ボタンより、データベースに登録されている橋梁の「橋梁諸元」と「位置情報」をデータ取得することができます。

検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。
検索条件の **+** 追加、**×** 削除は ボタンより行えます。

検索条件項目

①	橋梁名
②	所在地
③	路線名称
④	架設年次
⑤	橋長
⑥	海岸からの距離



データの取得

条件に一致する橋梁データの検索結果がリスト表示されます。条件を変えて再検索したい場合は、「検索条件の入力に戻る」ボタンをクリックします。「取得」ボタンより、選択した橋梁の「橋梁諸元」と「位置情報」を確認できます。

内容に問題がなければ「確定」ボタンを押します。

「橋梁諸元」と「位置情報」を取得することができます。

4-3 位置情報

「位置情報」に切り替えます。

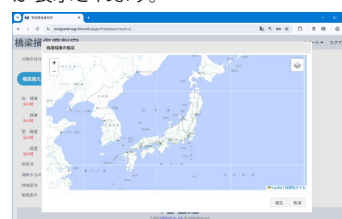
位置情報

位置情報では、橋梁の所在地に関する情報を入力します。

緯度経度の入力

※データ保存を行うには緯度経度の入力が必要です。橋梁の起点「自」および終点「至」の緯度経度は、度分秒形式で入力します。数値を直接入力する方法の他に、地図上で指定する方法があります。

「自」の入力欄横にある📍のアイコンをクリックすると地図が表示されます。



地図を移動・拡大縮小して位置を調整し、調査に記載する橋梁の起点「自」となる位置をクリックした後、「確定」ボタンをクリックします。

第2章 操作ガイドンス

橋梁損傷度判定

点検年月日: 2026/10/14 調査表示

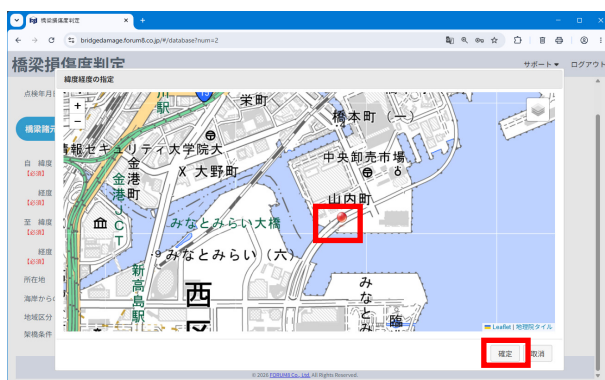
橋梁検索 位置情報 調査用設定 健全性診断 任意データ

自 緯度: 35 27 50.6519
経度: 139 38 0.9323
至 緯度:
経度:
所在地: 神奈川県 横浜市長 西區 みなとみらい一丁目
海岸からの距離: 20 m
地域区分: 橋梁電気が少ない地域
架橋条件: 河川

更新

ピンが刺された箇所の座標を基に「緯度」「経度」「所在地」「海岸からの距離」「地域区分」「架橋条件」が自動入力されます。

「至」についても同様に入力します。



地図を移動・拡大縮小して位置を調整し、調書に記載する橋梁の終点「至」となる位置をクリックした後、「確定」ボタンをクリックします。

橋梁損傷度判定

点検年月日: 2026/10/14 調査表示

橋梁検索 位置情報 調査用設定 健全性診断 任意データ

自 緯度: 35 27 50.6519
経度: 139 38 0.9323
至 緯度: 35 27 55.1839
至 経度: 139 38 5.4140
所在地: 神奈川県 横浜市長 西區 みなとみらい一丁目
海岸からの距離: 20 m
地域区分: 橋梁電気が少ない地域
架橋条件: 河川

更新

ピンが刺された箇所の座標を基に「至」の「緯度」「経度」が自動入力されます。

4-4 調書用設定

「調書用設定」に切り替えます。

調書用設定

点検年月日ごとの定期点検者等の情報を入力します。
既存の橋梁データに点検日を追加する場合、重複する点検年月日は指定できません。

各項目について入力します。

点検年月日	2026/〇/〇
定期点検者	
管理者名	関東 東京国道 フォーラム
緊急輸送道路	市町村指定
占有物件	

代替路<無>

道路種別<一般道>

全景写真

登録する場合は、カメラボタンよりファイルを選択します。

✖ 画像の削除

📄 画像のダウンロード

適宜、以下の項目の入力も可能です。

メモ

撮影日

撮影緯度

撮影経度

4-5 健全性診断

「健全性診断」に切り替えます。

健全性診断

調書に用いる状況写真及び詳細情報の入力を行います。画面には、選択されている点検年月日の点検データが表示されます。

橋梁損傷度判定

データ保存 Topへ戻る

点検年月日 2026/10/14 調査表示

橋梁種別 位置情報 調査用設定 健全性診断 任意データ

構成要素 橋全体

入力内容 技術的評価

道路橋毎の健全性

診断の区分 別

所見

☒ 所見に被害の劣化過程を表示する

技術的評価

落降重 C

地震 B

豪雨・出水 A

その他 -

(状況)

構成要素

「橋全体」「上部構造」「下部構造」「上下部接続部」「フェールセーフ」「伸縮装置」から選択します。

＜橋全体＞

以下は入力例です。

道路橋毎の健全性

診断の区分<III>

所見<なし>

所見に塩害の劣化過程を表示する<チェック>

技術的評價

道路橋毎の健全性の診断（Ⅰ～Ⅳ）および橋（全体として）の技術的な評価結果（A～C）を入力します。

活荷重<C>

地震

豪雨・出水<A>

その他<->

(状況)＜なし＞

構成要素：上部構造～伸縮装置

構成要素で「上部構造」「下部構造」「上下部接続部」「フェールセーフ」「伸縮装置」を選択した場合、「技術的評価」および「特定事象・前提条件」を入力します。

構成要素「上部構造」を選択し、「入力内容：技術的評価」を設定します。

技術的評價

想定する状況ごとに、技術的な評価結果（A～C）を入力します。また、調書に用いる状況写真を登録します。

想定する状況を ボタンで切り替えます。

状況写真

調書に用いる状況写真をアイコンより選択します。



状況写真を選択します。

「位置情報を取得することができませんでした。」というメッセージが表示された場合は、「閉じる」をクリックし、そのまま続行してください。



状況写真を削除します。



状況写真をダウンロードします。

健全度判定 状況写真判定

状況写真から以下の変状の種類と健全度を判定し、技術的な評価の参考情報として使用できます。

AIが判定した損傷度と表示される健全度の対応関係は、画面右上「サポート」-「基準値設定」(P12 2-1 診断の流れ【補足】基準値設定)をご参照ください。

- ・ひび割れ
- ・漏水・遊離石灰
- ・剥離・鉄筋露出

状況写真の選択後、画面下部の「健全度判定」ボタンを押します。

判定が終了すると、判定区分と変状の状態が更新されます。

※健全度判定の結果は目安です。設計者様のご判断にて必要に応じて変更をお願いします。

適宜「技術的評価」や「撮影緯度/撮影経度」等の入力を行います。

状況写真を追加

特定の構成要素＋想定する状況に対して複数の状況写真を登録したい場合は、「状況写真を追加」ボタンをクリックします。

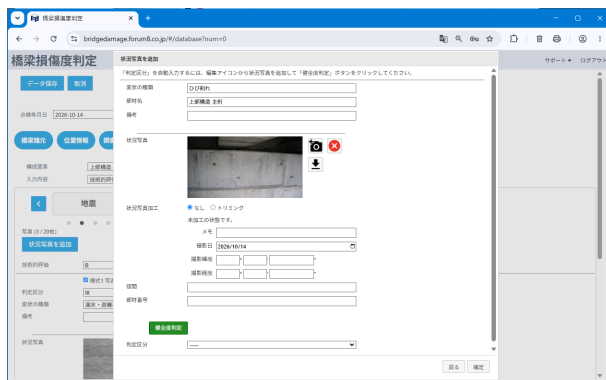
ダイアログが表示されるので、指示に従って選択し「進む」ボタンをクリックします。

「----」(未選択): 変状の種類と健全度を自動判定します。

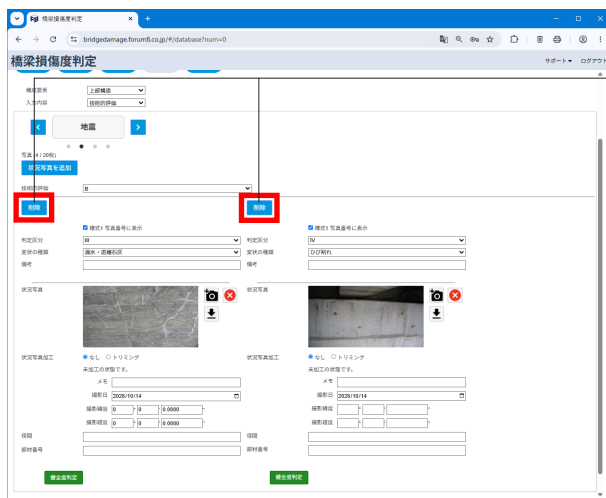
「ひび割れ」「漏水」「剥離」「塩害」: 変状の種類を指定して健全度を自動判定します。

「自由入力」: 自動判定機能は利用できません。

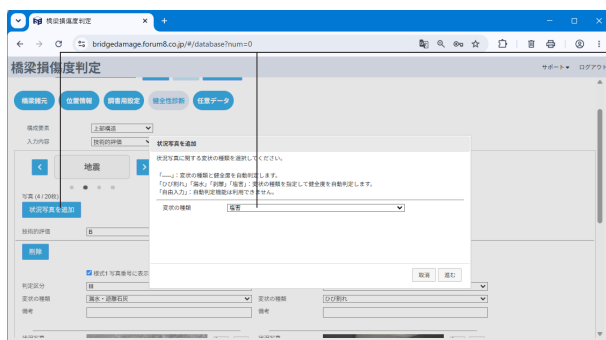
第2章 操作ガイドンス



各項目の情報を入力し、状況写真を読み込み「確定」します。



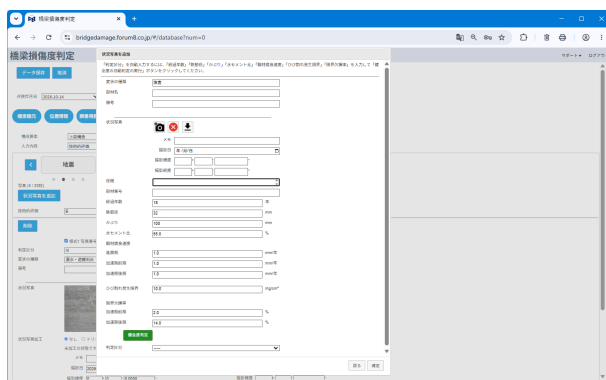
状況写真を追加すると「削除」ボタンが左上に追加されます。「削除」ボタンをクリックすることで、不要なデータを削除できます。



塩害判定

「状況写真を追加」ボタンをクリックし、「変状の種類：塩害」を選択します。

入力された情報から塩害度を判定します。
※状況写真による判定ではありません。変状の種類のドロップダウンを「塩害」に変更すると塩害度判定に必要な入力項目が表示されます。



必要に応じて適切な数値に変更します。
その他、位置情報の「海岸からの距離」と「地域区分」、基準値設定の「塩害度判定」を設定します。
※基準値設定(P12. 2-1 診断の流れ【補足】基準値設定)をご参照ください。

設定完了後、「健全度判定」ボタンをクリックすることで塩害度判定結果が表示されて判定区分が更新されます。
※最終的には設計者様のご判断にて、必要に応じて健全度を変更してください。



「入力内容：特定事象・前提条件」に切り替えます。

特定事象の有無

様式3の特定事象の有無(疲労、塩害、アルカリ骨材反応、防食機能の低下、洗掘、その他)、および健全性の診断の区分の前提を入力します。

4-6 任意データ

「任意データ」に切り替えます。

任意データを追加

任意データを追加では、調書に含めない任意のデータファイルを追加することができます。

任意データは点検年月日単位ではなく、橋梁単位で共通です。

データの追加

「任意データを追加」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されるので任意の「項目名」「備考」「ファイル」を入力します。

「確定」ボタンをクリックすると、画面上に任意データが表示されます。
一度追加したデータは画面上で編集が可能です。
不要なデータは「削除」ボタンより削除することができます。

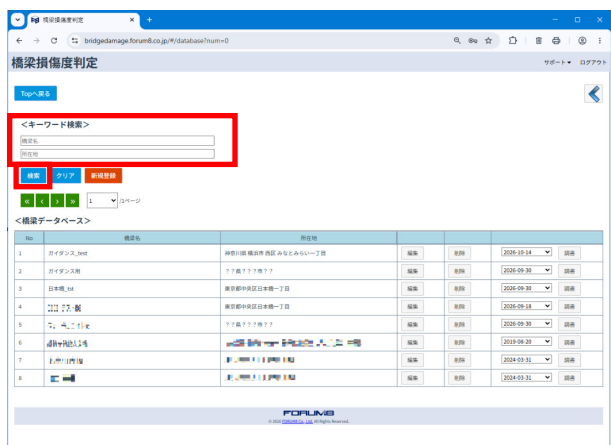
5 調書出力(データベース閲覧)

5-1 データ閲覧



Top画面の「調書出力(データベース閲覧)」ボタンより、登録された橋梁データのリストを閲覧することができます。

各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】(P9. 1-3 サポート【ヘルプ】)をご参照ください。

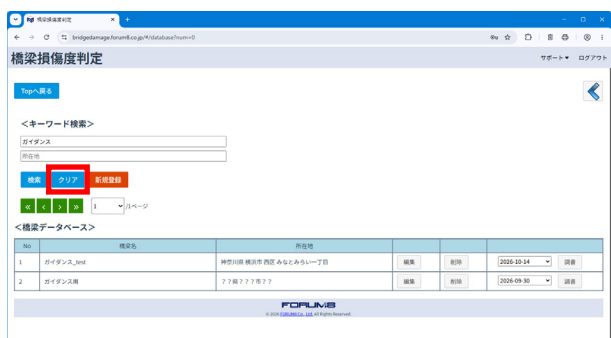


橋梁リスト表示画面

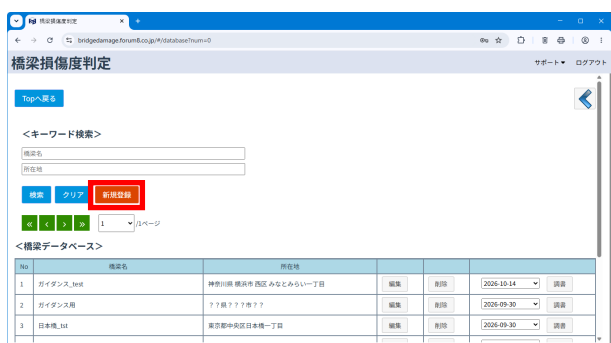
データ検索

画面上部のテキストボックスより、表示する橋梁データにフィルターをかけることができます。

橋梁データリストの項目「橋梁名」「所在地」に対応しています。フィルター適用するには「検索」ボタンをクリックします。

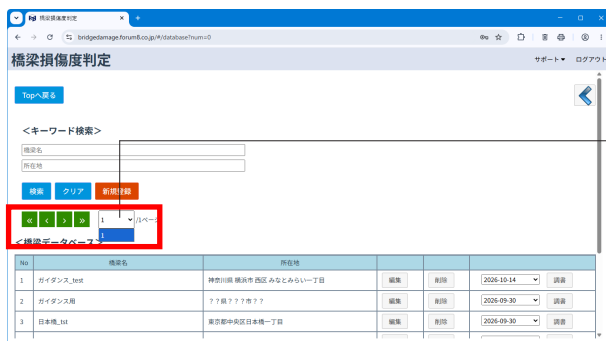


フィルターを解除する場合は「クリア」ボタン、またはテキストボックスを空欄にして「検索」ボタンをクリックします。



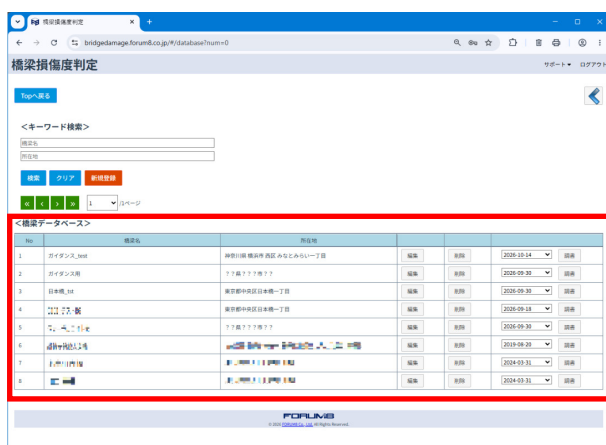
新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして入力画面に遷移できます。入力についての詳細は(P15. 4-1 新規作成)をご参照ください。



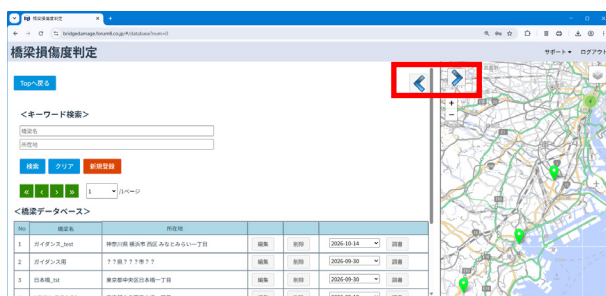
ページ切り替え

データは橋梁ごとに登録された順に表示No.が若く、1ページごとに10件のリストが表示されます。
橋梁データリスト上部の緑のボタンまたはドロップダウンより、ページを変更できます。
※登録された橋梁データが10件以下の場合はページを移動することはできません。



橋梁データリスト

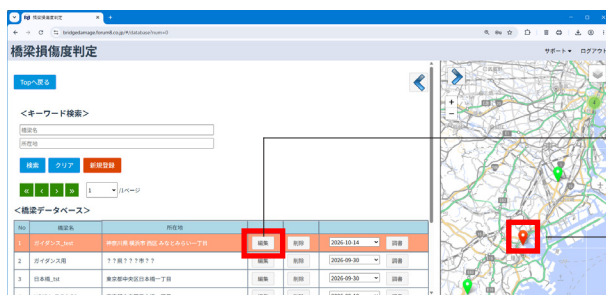
登録された橋梁のデータが一覧表示されます。



マップ表示

画面上部の矢印アイコンをクリックするとマップを表示することができます。
マップ上には登録された橋梁の所在地にマーカーが表示されます。数字はその場所に集中しているマーカーの数を表しており、マップをズームすることでマーカーが表示されます。
アイコンをクリックすることで画面を分割表示またはマップのみの表示を切り替えられます。

5-2 データ編集



橋梁データリストより、登録済みのデータを編集することができます。

①リストから選択

橋梁データリスト内の「編集」ボタンをクリックすることで、該当する橋梁のデータの入力画面に移動します。

②マップから選択

マップ上に存在するマーカーをクリックすると、該当する橋梁のデータの入力画面に移動します。

第2章 操作ガイドンス

「編集」ボタンまたは、マップ上に存在するマーカーをクリックすると選択した橋梁の入力画面に遷移します。

表示データの変更

画面上部の点検年月日のドロップダウンでは、登録済みの点検データの年月日を選択できます。

※点検年月日が2つ以上ある場合、年月日を変更すると、「調査用設定」と「健全性診断」が切り替わります。

「橋梁諸元」「位置情報」「任意データ」は橋梁ごとに共通で、変更すると全ての点検年月日に対して適用されます

表示データの追加

「追加」ボタンをクリックすると現在の橋梁諸元、位置情報を使用して新たな点検データを作成できます。

ダイアログより、☐ 点検年月日を選択して「確定」ボタンをクリックします。

※登録済みの点検年月日は選択できません。

表示データの削除

点検年月日が2つ以上ある場合、「削除」ボタンをクリックできるようになります。

削除したい点検年月日を指定して、点検データを個別に削除できます。

橋梁に登録されている全てのデータを削除したい場合は、橋梁リスト表示画面上の「削除」ボタンをクリックします。

<橋梁データベース>

No	橋梁名	所在地	編集	削除	点検年月日	調査
1	ガイダンス_test	神奈川県 横浜市 西区 みなとみらい一丁目	編集	削除	2026-10-15	調査
2	ガイダンス用	??? 県 ??? 市 ??? 区 ??? 町 ??? 丁目	編集	削除	2026-09-30	調査

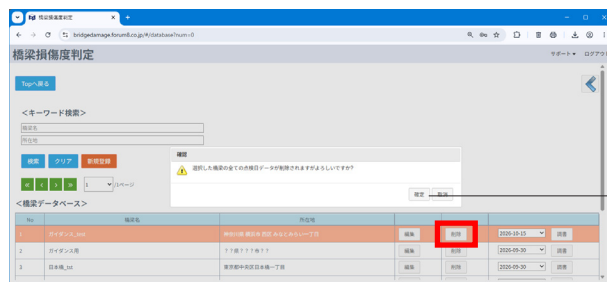
表示データの保存

点検データを編集または追加、削除をした時点では保存されていません。

画面左上の「データ保存」ボタンをクリックして編集内容を保存します。

取り消す場合は「取消」ボタンをクリックします。

5-3 データ削除



橋梁データリストより、登録済みのデータを削除することができます。

リストから削除

橋梁データリストの「削除」ボタンをクリックすると、対象の橋梁データを削除できます。

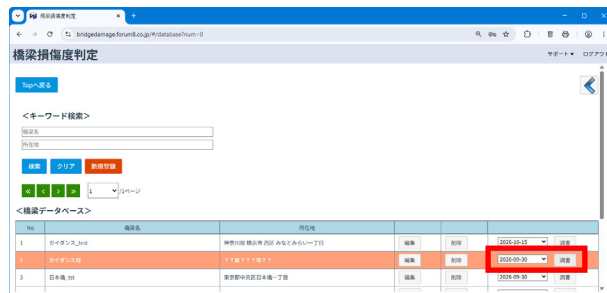
削除確認画面が表示されます。内容を確認のうえ「確定」ボタンをクリックすると、削除が実行されます。

※リストから削除する場合、選択した橋梁の全点検日データが削除されます。

※個別のデータ削除は入力画面より行えます。

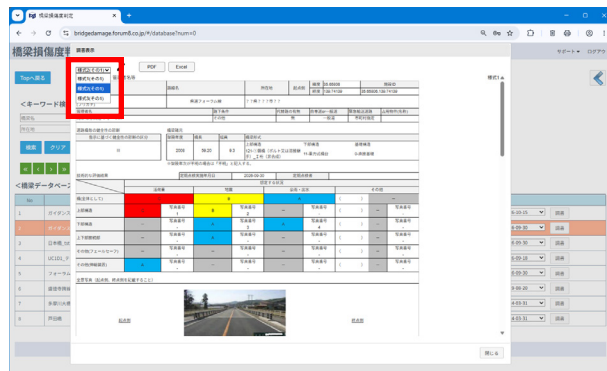
(P26. 5-2 データ編集「表示データの削除」)をご参照ください。

5-4 調書出力



橋梁データリストの「調書」ボタンより、登録データの点検調書をプレビュー表示します。

複数の点検年月日データを登録している場合はドロップダウンを変更します。



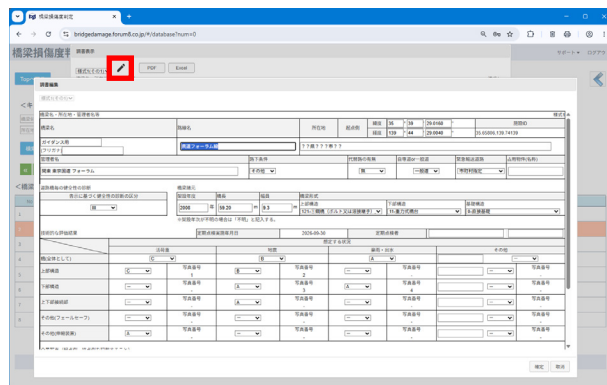
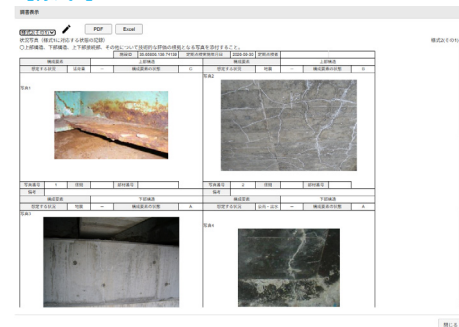
プレビュー表示

様式

画面左上のドロップダウンによって表示する点検調書の様式を切り替えることができます。

様式2は部材の状況写真の枚数に応じて自動生成されます。

【様式2】



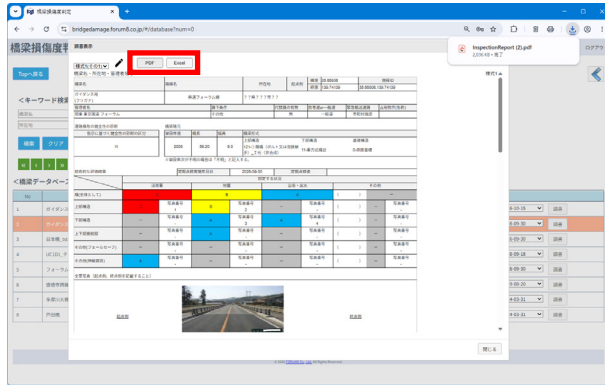
編集

左上のアイコンより、調書に記載されている内容を画面上で直接編集することができます。

編集は、ドロップダウンで選択中の様式に対して行います。

編集内容を保存するには「確定」ボタンをクリックします。

第2章 操作ガイドンス



出力

「PDF」「Excel」ボタンより、点検調書を出します。



出力したPDFデータ

※PDF出力は画像ベースです。調書読込には使用できません。

橋梁損傷度判定 操作ガイドンス

2026年 10月 第1版

発行元 株式会社フォーラムエイト
〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F
TEL 03-6894-1888

禁複製

お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、弊社、「サポート窓口」へお問い合わせ下さい。

なお、ホームページでは、Q&Aを掲載しております。こちらもご利用下さい。

<https://www.forum8.co.jp/faq/qa-index.htm>

ホームページ www.forum8.co.jp

サポート窓口 ic@forum8.co.jp

FAX 0985-55-3027

橋梁損傷度判定

操作ガイダンス

www.forum8.co.jp

